

syllabus

教科名 医療統計Ⅱ
(病院統計・疾病統計)

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	36
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 西村 智嘉男 看護師、医療事務
実務経験: 診療情報管理

目的	数字や数学が苦手です。今まで関わらないのを避けていた学生が、「統計学は面白い」、「統計学は役に立つ」ことに気づく。そして、もっともっと統計学を勉強したくなる学生に成長する。新聞等に記載される数字の意味を正確に読み取る能力と確率で物事を判断する能力の向上を図る。
----	--

実務経験の生かし方	診療情報管理士、看護師、医療事務の経験を踏まえ、実務でデータがどのように処理され、統計がどのように活用されているのかを具体的に説明していきたい。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 各種のグラフ 1	①
② 各種のグラフ 2	②	
③ 各種のグラフ 3	③	
④ 各種のグラフ 4	④	
⑤ 病院の統計資料 1	⑤	
⑥ 病院の統計資料 2	⑥	
⑦ 病院の統計資料 3	⑦	
⑧ 臨床研究	⑧	
⑨ 医療統計試験対策 1	⑨	
⑩ 医療統計試験対策 2	⑩	
⑪ 医療統計試験対策 3	⑪	
⑫ 医療統計試験対策 4	⑫	
⑬ 医療統計試験対策 5	⑬	
⑭ 医療統計試験対策 6	⑭	

評価方法	20点満点の小テストと期末試験の合計点数を100点満点に補正して評価
------	------------------------------------

	教科書	教材	備考
教科書教材	「診療情報管理論Ⅲ」 (社団法人 日本病院会発行)	毎回配布するレジュメとパワーポイントのスライドで授業を進める	

その他	診療情報管理士認定試験 2月
-----	----------------

syllabus

教科名 保健医療情報学

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	36
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 伊東 登

実務経験: 医学統計計算実務

目 的	近年多くの病院で用いられるようになった電子カルテシステムの説明や病院内の情報取り扱いについて説明する。本科目は、診療情報管理士や医療情報技師の試験科目でもあるので、それらの試験対策も兼ねる。
-----	---

実務経験の生かし方	医療情報学の守備範囲のうち、近年注目されている医療ビッグデータや医療統計について具体例を用いて詳しく説明する。
-----------	---

	前期	後期
授業概要	① 概論	①
	② 医療統計(1)	②
	③ 医療統計(2)	③
	④ 情報処理技術(1)	④
	⑤ 情報処理技術(2)	⑤
	⑥ 医学医療(1)	⑥
	⑦ 医療情報システム(1)	⑦
	⑧ 医療情報システム(2)	⑧
	⑨ 医療情報システム(3)	⑨
	⑩ 情報通信技術の基礎(まとめ)	⑩
	⑪ 医医療情報の特徴と種類(まとめ)	⑪
	⑫ 医療情報システム(まとめ)	⑫
	⑬ 医療情報の標準化(まとめ)	⑬
	⑭ 情報セキュリティ(まとめ)	⑭

評価方法	提出物50%、定期試験50%、計100%で評価
------	-------------------------

	教科書	教材	備考
教科書教材	診療情報管理Ⅲ 医療情報サブノート(篠原出版)	プリント、	

その他	診療情報管理士認定試験 2月
-----	----------------

syllabus

教科名 国際統計分類Ⅱ

	前期	後期
コマ数	0.5	

総時数	18
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 盛永 剛

実務経験: 診療情報管理士

目 的	「国際疾病分類＝ICD」の使用目的を理解し、正確なコーディングが行えるようテクニックや精度向上を図る。 また同様に「ICD-O」についても理解を深める。
-----	---

実務経験の生かし方	実際に病院で登録される病名(特異的な実例を含む)について、コーディング演習を行い、導入が進んでいる電子カルテ上でのコーディングやその注意点についても説明する。 また関連する最新情報や動向など授業の中で提供していく。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 国際疾病分類(ICD)について ICDと電子カルテについて	①
	② 疾患A00～G99について (C00～D48を除く)	②
	③ 疾患C00～D48について	③
	④ 「ICD-O(腫瘍学)」について	④
	⑤ 疾患H00～N98について	⑤
	⑥ 疾患O～Rについて	⑥
	⑦ 疾患S00～Z99について	⑦
	⑧ 期末試験	⑧
	⑨	⑨
	⑩	⑩
	⑪	⑪
	⑫	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	期末試験による100点満点評価
------	-----------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅳ 専門8章～12章	疾病、傷害及び死因の統計分類提要ICD-10 * 授業時に貸与	

その他	診療情報管理士認定試験 パワーポイントによる解説を中心とした授業
-----	-------------------------------------

syllabus

教科名 医療管理各論Ⅲ
(医療安全・医療の質管理)

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	36
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 家常 史恵

実務経験: 診療情報管理士

目的	医療機関がとっている医療安全への対策の基本的な要項を理解し、実務経験での実例を基に、実際に現場で活動するための最低限の知識を身に付ける。
----	--

実務経験の生かし方	ヒューマンエラーによる医療訴訟や医療事故、災害によるリスクマネジメントや医療機関の対応など、昨今の出来事の各医療機関の対応を、自身の経験から紹介し学生に考えてもらいたい。また医療データを厚生労働省へ提出する具体的なデータの説明や各病院ごとのエラーを防ぐ工夫なども紹介していきたい。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 授業の進め方について 医療安全概論	①
	② 医療におけるリスクマネジメント	②
	③ ヒューマンエラー	③
	④ 医療事故と医療過誤、医事紛争 4-1 まとめテスト	④
	⑤ 医療の質と保証	⑤
	⑥ チーム医療における診療情報共有	⑥
	⑦ 医療の質マネジメントシステム	⑦
	⑧ 医療の質の評価と公表 4-2 まとめテスト	⑧
	⑨ 医療マーケティング	⑨
	⑩ 診療情報管理におけるデータの活用	⑩
	⑪ 電子カルテデータ、オーダーデータと 医事会計データ	⑪
	⑫ 診療情報管理データと 医事会計データ	⑫
	⑬ 4-3 まとめテスト	⑬
⑭ 期末試験	⑭	

評価方法	小テスト・定期試験・出席率による100点満点評価 (平常点も含む)
------	--------------------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅲ (2017.7 第8版 第2刷)	診療情報管理士教育問題集 資料及び問題プリント	

その他	診療情報管理士認定試験 2月
-----	----------------

syllabus

教科名 **基礎医学Ⅲ**

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	74
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 坂田 富美子・竹田 圭子 実務経験: 看護師

目的	既習の医療の歴史、医の倫理などの知識の集大成の一環として、実務経験上の実例のもと、コ・メディカルの一員となるため、社会保障、地域保健、予防医学などの現代医療の理解を深め、診療情報管理士資格取得のための知識を確実に修得する。
----	---

実務経験の生かし方	医学概論における、医療の歴史や保健、予防医学などについて、実際の経験を活かし、それらを系統立てて整理し、診療情報管理士資格取得のための知識を、効率よく確実に記憶にとどめられるようにする。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 腎臓の解剖	① 医学と医療の歴史（古代～中世、近世）
	② 腎臓疾患の検査	② 医学と医療の歴史（近代） 自然科学・卓越した臨床家
	③ ネフローゼ症候群	③ 20世紀の医学
	④ 急性腎不全	④ 日本の医学と医療の歴史
	⑤ 慢性腎不全	⑤ 医の倫理
	⑥ 前立腺肥大症、膀胱炎	⑥ 社会保障制度
	⑦ 乳腺炎、子宮内膜症	⑦ 医療制度(医療保険)
	⑧ 定期テスト	⑧ 医療制度(老人保健・介護保険)
	⑨ 呼吸器の症状・検査	⑨ 地域保健
	⑩ インフルエンザ、肺炎	⑩ 予防医学
	⑪ 急性気管支炎、副鼻腔炎	⑪ 国民健康づくり運動
	⑫ COPD 気管支喘息	⑫ まとめの練習問題 NO1
⑬ 塵肺、肺水腫、気胸	⑬ まとめの練習問題 NO2	

定期テスト

評価方法	①小テストの平均点数50%②課題提出40%③出欠席10% ①～③の合計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 (日本病院会)	診療情報管理士教育問題集 (日本病院会)	

その他	2月 診療情報管理士試験
-----	--------------

syllabus

教科名 診療情報管理Ⅲ
(DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務)

	前期	後期
コマ数	0.5	

総時数	18
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 盛永 剛

実務経験: 診療情報管理士

目的	「DPC/PDPS」「医師事務作業補助業務」「がん登録」の業務は診療情報管理士の業務として急速に拡大し求められている。業務が発生した背景や診療情報管理士との関係性について学ぶ。
----	--

実務経験の生かし方	診療情報管理士としての実務経験を交えて解説し、実際の病院でどのように業務が行われているか問題点を含めて理解が深まるよう説明する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① DPC/PDPSと実務について	①
	② DPC/PDPSと影響調査について	②
	③ DPC/PDPSと診療録管理体制加算について	③
	④ DPC/PDPSとデータ精度について	④
	⑤ 医師事務作業補助業務について	⑤
	⑥ がん登録業務について	⑥
	⑦ 医師事務作業補助業務・がん登録の業務事例	⑦
	⑧ 期末試験	⑧
	⑨	⑨
	⑩	⑩
	⑪	⑪
	⑫	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	期末試験による100点満点評価
------	-----------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅳ 専門8章～12章		

その他	診療情報管理士認定試験 パワーポイントによる解説を中心とした授業
-----	-------------------------------------

syllabus

教科名 医療情報技師講座

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	36
-----	----

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 伊東 登

実務経験: 医学統計計算実務

目 的	病院の電子カルテシステムの保守管理・運用を行う医療情報技師の資格を取るための試験対策を行う。診療情報管理士試験との重複分野も多いことから、その試験対策も兼ねる。
-----	--

実務経験の生かし方	5年以上にわたる医療情報技師検定の受験指導を通じて、効率的な受験対策を行うとともに資格取得後、医療現場で困らない応用力をつける。
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① 概論	①
	② 情報処理技術演習(1)	②
	③ 情報処理技術演習(2)	③
	④ 情報処理技術演習(3)	④
	⑤ 情報処理技術演習(4)	⑤
	⑥ 情報処理技術演習(5)	⑥
	⑦ 医療情報システム演習(1)	⑦
	⑧ 医療情報システム演習(2)	⑧
	⑨ 医療情報システム演習(3)	⑨
	⑩ 医療情報システム演習(4)	⑩
	⑪ 医医療情報システム演習(5)	⑪
	⑫ 医学医療演習(1)	⑫
	⑬ 医学医療演習(2)	⑬
	⑭ 医学医療演習(3)	⑭

評価方法	提出物50%、定期試験50%、計100%で評価
------	-------------------------

	教科書	教材	備考
教科書 教材	医療情報の基礎知識(南江堂) 医療情報サブノート(篠原出版)	プリント、	

その他	診療情報管理士認定試験 2月
-----	----------------

syllabus

教科名 診療情報管理士認定試験対策講座

	前期	後期	総時数
コマ数	1	2	150

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 家常 史恵

実務経験: 診療情報管理士

目的	これまで学習した、病院管理等に関する知識のまとめ、実務経験での実例を交えながら、おさらいを中心とし、資格取得に向けての知識を確実に習得する。
----	--

実務経験の生かし方	診療情報管理士はこれからも医療機関からますます必要とされる資格であること、採用することによる医療費の点数評価が上がっていること、また規模の大きな医療機関ではDPC請求していることが多いため、実際の医療現場ではどのようなチェック体制や請求をしているのかを現場の経験を交えて話し合格へのモチベーションの維持に繋げていきます。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 総論 要点説明 サマリ[感染症および寄生虫症]説明 ② 総論 小テスト→各論Ⅰ 要点説明 サマリ[血液、内分泌]説明 ③ 各論Ⅰ 小テスト→各論Ⅱ 要点説明 サマリ[精神、神経]説明 ④ 各論Ⅱ 小テスト→管論Ⅰ 要点説明 サマリ[眼、耳]説明 ⑤ 管論Ⅰ 小テスト→管論Ⅱ 要点説明 サマリ[循環器、呼吸器]説明 ⑥ 管論Ⅱ 小テスト→管論Ⅲ 要点説明 サマリ[消化器、皮膚]説明 ⑦ 管論Ⅲ 小テスト→国疾Ⅰ 要点説明 サマリ[筋骨格、腎尿路]説明 ⑧ 国疾Ⅰ 小テスト→原死因、主要病態 サマリ[妊娠、周産期]説明 ⑨ 原死因、主要病態 小テスト サマリ[先天奇形、症状]説明 ⑩ サマリ[損傷、外因、健康状態]説明 ⑪ 期末試験 ⑫ ⑬ ⑭	① 診療情報管理士認定試験 模擬問題 (実施・解答・解説) ② " ③ " ④ 第1回 模擬試験 ⑤ 診療情報管理士認定試験 模擬問題 (実施・解答・解説) ⑥ " ⑦ " ⑧ " ⑨ " ⑩ " ⑪ 第2回 模擬試験 ⑫ 診療情報管理士認定試験 模擬問題 (実施・解答・解説) ⑬ " ⑭ 第3回 模擬試験

評価方法	定期試験・提出物・出席率(平常点も含む)による100点満点評価(各章の小テストの平均点数も含む)
------	--

教科書	教科書	教材	備考
診療情報管理Ⅰ 診療情報管理Ⅱ 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理Ⅳ		診療情報管理士教育問題集 模擬問題	

その他	診療情報管理士認定試験 2月
-----	----------------

syllabus

教科名 診療情報管理士認定試験対策講座

	前期	後期
コマ数	2	2

総時数
148

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 竹田 圭子

実務経験: 看護師

目的	既習の疾患に関する基礎的知識の集大成の一環として、実務経験上の実例のもと、新生物、精神・脳神経・感覚器系および皮膚・筋骨格系の疾患の理解を深め、診療情報管理士資格取得のための知識を確実に修得する。
----	--

実務経験の生かし方	新生物、精神・脳神経・感覚器系および皮膚・筋骨格系の疾患の、病態、特徴、検査、治療について、実際の経験を活かし、それらを系統立てて整理し、診療情報管理士資格取得のための知識を、効率よく確実に記憶にとどめられるようにする。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	①② 悪性新生物 復習 (分類・特徴・口腔、咽頭)	①② 眼及び付属器の疾患 復習
	③④ 悪性新生物 復習 (食道・胃・大腸)	③④ 皮膚疾患 復習 (病原性微生物による・蕁麻疹)
	⑤⑥ 悪性新生物 復習 (肝・胆道・膵臓)	⑤⑥ 皮膚疾患 復習 (自己免疫異常・薬疹)
	⑦⑧ 悪性新生物 復習 (呼吸器)	⑦⑧ 関節障害 復習
	⑨⑩ 悪性新生物 復習 (皮膚・生殖器)	⑨⑩ 全身性結合組織障害 復習
	⑪⑫ 悪性新生物 復習 (腎・尿路・脳・内分泌腺)	⑪⑫ 脊柱障害 復習
	⑬⑭ 悪性新生物 復習 (リンパ組織・造血組織)	⑬⑭ 軟部組織障害 復習
	⑮⑯ 良性新生物 復習	⑮⑯ 骨障害 復習
	⑰⑱ 神経系の基礎知識 復習	⑰⑱ まとめの練習問題 NO1
	⑲⑳ 中枢神経系の疾患 復習	⑲⑳ まとめの練習問題 NO2
	㉑㉒ 末梢神経系の疾患 復習	㉑㉒ まとめの練習問題 NO3
	㉓㉔ 麻痺性症候群 復習	㉓㉔ まとめの練習問題 NO4
	㉕㉖ 精神疾患 復習 (精神及び行動の障害)	㉕㉖ まとめの練習問題 NO5
	㉗㉘ 精神疾患 復習 (パーソナリティ障害・発達障害)	
	㉙㉚ 耳及び乳様突起の疾患 復習	

評価方法	①小テストの平均点数50%②課題提出40%③出欠席10% ①～③の合計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 I 基礎・医学編 (日本病院会)	診療情報管理士教育問題集 (日本病院会)	

その他	2月 診療情報管理士試験
-----	--------------

syllabus

教科名 診療情報管理士認定試験対策講座

	前期	後期
コマ数	2	2

総時数

148

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 坂田富貴子

実務経験: 看護師

目的

診療情報管理士試験合格を目指し、人体構造・消化器疾患・呼吸器系疾患・泌尿器系疾患・周産期系疾患・感染症の総合的理解を深め、多様な問題に対応できる力を養う。

実務経験の生かし方

循環器、呼吸器系、血液内分泌系、周産期系、消化器系、泌尿器系、感染症を系統的に把握し、診療情報管理士試験に合格できる講義内容にする。

授業概要

前期	後期
① P1～30 各論Ⅲ	① P1～30 総論
② P31～60 血液、内分泌	② P31～60 解答解説
③ P61～100 解説解答	③ P61～100 解答解説
④ P1～30 各論Ⅵ	④ P1～30 各論Ⅰ
⑤ P31～60 消化器、泌尿器	⑤ P31～60 感染症
⑥ P61～100 解説解答	⑥ P61～100 解答解説
⑦ P1～30 各論Ⅴ	⑦ P1～30 人体構造
⑧ P31～60 呼吸器、循環器	⑧ P31～60 解答解説
⑨ P61～100 解説解答	⑨ P61～100 解答解説
⑩ P1～30 各論Ⅶ	⑩ 応用問題Ⅰ
⑪ P31～60 周産期疾患	⑪ 応用問題Ⅱ
⑫ P61～100 解説解答	⑫ 実力問題Ⅰ
⑬ 応用問題	⑬ 実力問題Ⅱ
⑭ 実力問題	⑭ 総合テスト

評価方法

定期テスト・実力テスト 80%

出席率・平常点20%

教科書
教材

教科書
管理士教育問題集
各資格・国家試験問題集

教材
診療情報管理Ⅰ

備考

その他

2月 診療情報管理士試験

syllabus

教科名 診療報酬請求事務Ⅲ

	前期	後期	総時数
コマ数	1	1	74

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 家常 史恵

実務経験: 診療情報管理士

目的	<p>1) 外来及び入院カルテから診療報酬の三点技能を修得し、診療報酬請求事務関連の認定試験合格を目指す。</p> <p>2) 実務経験での実例を基に医療事務・窓口業務に必要な基本的事項を指導する。</p>
----	---

実務経験の生かし方	<p>正確なコーディングのためには医療知識と治療状況の把握、それと医療事務の知識は不可欠です。医療費請求のためのレセプトデータとDPC請求はセットで請求していくことも多いため、診療報酬請求事務の試験合格は重要であることを理解してもらい、改めて合格を目指して取り組んでもらうようにします。</p>
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 学科・実技問題 実施 解答・解説 ② " " ③ " " ④ " " ⑤ " " ⑥ " " ⑦ " " ⑧ " " ⑨ " " ⑩ " " ⑪ " " ⑫ " " ⑬ " " ⑭ 期末試験	① 学科・実技問題 実施 解答・解説 ② " " ③ " " ④ " " ⑤ " " ⑥ " " ⑦ " " ⑧ " " ⑨ " " ⑩ " " ⑪ " " ⑫ " " ⑬ " " ⑭ 期末試験

評価方法	<p>定期試験・提出物による100点満点評価 (平常点も含む)</p>
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療事務講座テキスト	診療報酬点数表 薬価基準表 受験対策と予想問題集 医療事務マスターブック	

その他	<p>診療報酬能力認定試験、医療事務技能認定試験等 医療事務関連の検定</p>
-----	---

syllabus

教科名 コーディング演習
(専門・国際統計分類 ドリル)

	前期	後期	総時数
コマ数		2	76

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 家常 史恵

実務経験: 診療情報管理士

目的	分類法の基礎について再度確認。 実務経験での実例を基にし、コーディング演習を行う
----	---

実務経験の生かし方	実際の病院で行われているコーディング状況は必ずしも診療情報管理士が行っているものではないこと、またソフト任せのコーディングに頼っていたり治療内容の理解不足のため、誤ったコーディングになってしまうことが多いため、最終チェックや提出前のエラーチェックはとても大切な業務の一つであることを説明します。またエラーデータやエラーコードの多いデータは病院の信用・収入にもかかわってくるため、しっかりと責任をもって修正・対応していかなければならないことを合わせて説明していきます。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	①	診療情報管理士認定試験 模擬問題 (実施・解答・解説)
②	〃	
③	〃	
④	第1回 模擬試験	
⑤	診療情報管理士認定試験 模擬問題 (実施・解答・解説)	
⑥	〃	
⑦	〃	
⑧	〃	
⑨	〃	
⑩	〃	
⑪	第2回 模擬試験	
⑫	診療情報管理士認定試験 模擬問題 (実施・解答・解説)	
⑬	〃	
⑭	第3回 模擬試験	

評価方法	定期試験・提出物・出席率(平常点も含む)による100点満点評価 (各章の小テストの平均点数も含む)
------	---

教科書教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅰ 診療情報管理Ⅱ 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理Ⅳ	診療情報管理士教育問題集 模擬問題	

その他	診療情報管理士認定試験 2月
-----	----------------

syllabus

教科名 コーディング演習
(専門・国際統計分類 ドリル)

	前期	後期	総時数
コマ数	2	2	148

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 鶴巻 奈月 診療情報管理士
医療事務
実務経験: 医師事務作業補助者

目的	実務で必要となるコーディングのポイントとサマリー記載内容の理解を図る。 演習問題を通し、診療情報管理士認定試験合格へ向けて知識を習得。
----	--

実務経験の生かし方	サマリーから必要な情報(病名・手術・処置等)を読み取りコーディングする技術を詳しく説明する。
-----------	--

授業概要	前期	後期	
	①	コーディング演習問題 実力確認テスト(50問)	① X VI. 周産期に発生した病態 X VII. 先天奇形、変形および染色体異常
	②	I. 感染症及び寄生虫症 II. 新生物	② X VIII. 症状、兆候及び異常臨床所見等 X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
	③	III. 血液及び造血器の疾患 IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	③ X X. 傷病及び死亡の外因
	④	V. 精神及び行動の障害 I ~ V 復習	④ X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用
	⑤	I ~ V 復習テスト	⑤ X VI ~ X X I 復習テスト
	⑥	VI. 神経系の疾患 VII. 眼及び付属器の疾患	⑥ 原死因
	⑦	VIII. 耳及び乳様突起の疾患 IX. 循環器系の疾患	⑦ 原死因
	⑧	X. 呼吸器系の疾患 VI ~ X 復習	⑧ コーディング演習問題 I ~ IV
	⑨	VI ~ X 復習テスト	⑨ コーディング演習問題 V ~ VIII
	⑩	X I. 消化器系の疾患 X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	⑩ コーディング演習問題 IX ~ X II
	⑪	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患 X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	⑪ コーディング演習問題 X III ~ X VI
	⑫	X V. 妊娠、分娩及び産じょく X I ~ X V 復習	⑫ コーディング演習問題 X VII ~ X X I
	⑬	X I ~ X V 復習テスト	⑬ 認定試験対策1
⑭	I ~ X V 総復習	⑭ 認定試験対策2	

評価方法	前期: 期末試験による100点満点の点数 後期: 小テスト、模擬試験の平均点数
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士テキストIV 専門・11章~12章 ICD10(2013年版) (日本病院会)	問題集(日本病院会) 必要に応じて資料及び 問題を作成	

その他	2月 診療情報管理士認定試験
-----	----------------

syllabus

教科名 卒業研究・就職支援講座

	前期	後期	総時数
コマ数	1	1	74

開講学科 診療情報管理士専攻科

担当教員 家常 史恵

実務経験: 診療情報管理士

目的	<p>パワーポイントを使用し、自分の考えをスライドにまとめる力・発表する力を身に付ける。 また、様々な方法で情報収集を行う事により調べる力を身に付け、発表する力だけではなく、日常業務内でも活用する力を身に付ける。</p>
----	--

実務経験の生かし方	<p>情報を広く集めること、集めた情報を取捨選択すること、人に聞いてもらえるように発表内容に工夫すること、決められた時間内で完結させることなど、今まで受け身の学生では経験できなかったことを多数経験していくこととなりますが、作業を進めてく上での悩みやつまずきを個別に聞き取りし、具体的なサポートをしていきます。</p>
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 卒業研究に向けての情報収集 ② " " ③ " " ④ " " ⑤ " " ⑥ " " ⑦ " " ⑧ " " ⑨ " " ⑩ " " ⑪ " " ⑫ " " ⑬ " " ⑭ " "	① 集めた情報を基にプレゼンテーションを使用し発表のまとめ ② " " ③ " " ④ " " ⑤ " " ⑥ " " ⑦ " " ⑧ " " ⑨ " " ⑩ " " ⑪ " " ⑫ " " ⑬ " " ⑭ " "

評価方法	卒業研究発表による評価
------	-------------

教科書 教材	教科書	教材	備考

その他	1月 卒業研究発表会
-----	------------